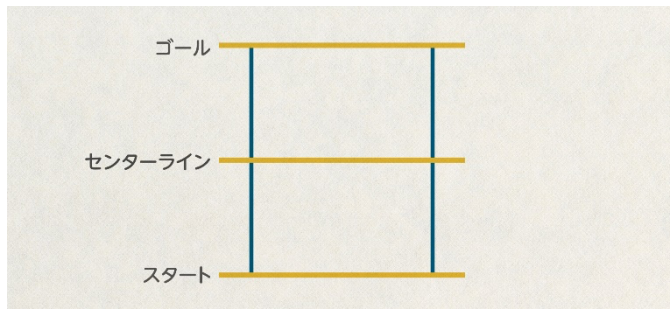


【ねらい】

- ① 運動の得意不得意や男女の別に関係なく、身体を動かす遊びを通じてお互いの仲間づくりを進める。
- ② 瞬発力、判断力、空間認知力、投げる力等を養う。
- ③ 仲間との協力や紳士的なプレイを通じて社会性を養う。

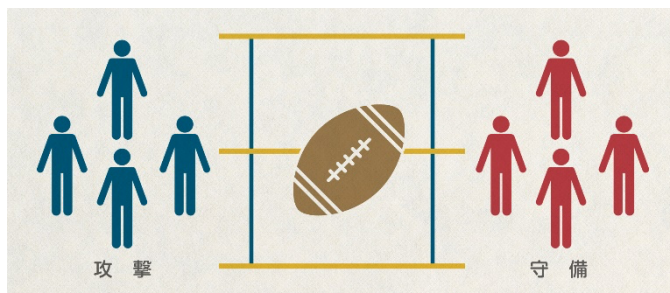
【準備】

- ① ラグビーボール。(もしくは、キャンディーボールなど)
- ② ビブス、審判用の笛、審判用のストップウォッチ、1分が分かる大きな時計、得点表。
- ③ コート
 - (ア) 大きさは、ドッジボールができるくらい。
 - (イ) スタートとゴール、そして、中央に、それぞれ線を1本描く。
 - (ウ) 室内で実施する際は、安全のためコート周辺の十分なスペースを確保する。

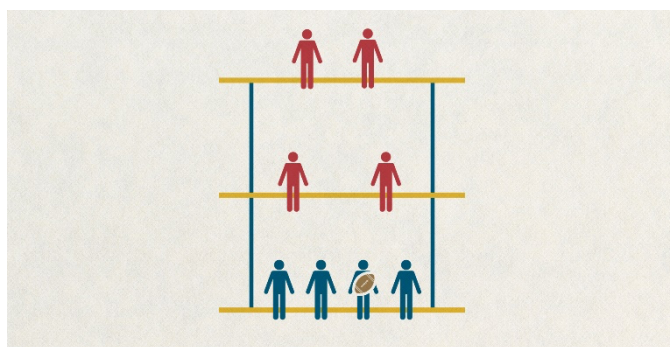


【進め方】

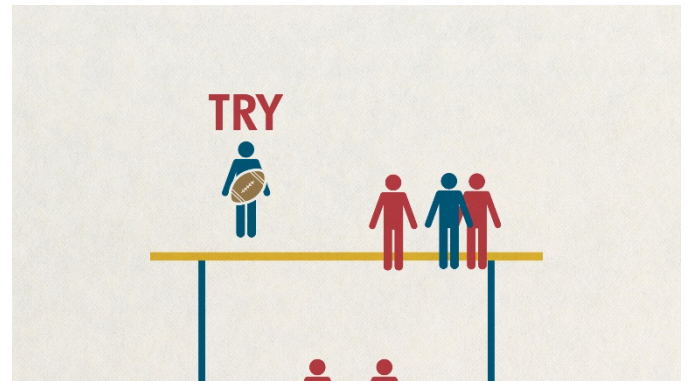
- ① 3～4人のチームを作り、攻撃と守備に分かれる。



- ② 守備チームは、中央の線上に2人、ゴール前の線上に1人か2人つく。守備チームが動けるのは、この線上のみ。



- ③ タックルは禁止。攻撃チームのボールを持っている人がタッチされたらアウト！ 攻撃と守備を交代する。
- ④ 攻撃は攻撃チーム全員がスタートラインに並んで開始。チーム内でパスを回すか、ボールを持って走るかしながら、最終ライン突破を目指す。
- ⑤ 守備チームにタッチされずにゴールラインを越えればトライ。



- ⑥ 攻撃の時間は、「10秒以内」などと制限した方がメリハリがあって盛り上がる。

【援助のポイント】

- ① 安全に、フェアにプレイするためにも、必要以上に対抗意識を煽ることのないように注意する。
- ② 子どもたちみんなが勝ち負けよりもゲームそのものを楽しめるように、あらかじめ親和的な雰囲気作りに心掛ける。